

# ● PACSの枠を超え、 進化するCLEVINOシステム

株式会社イメージワン ヘルスケアソリューション事業部 | 隈本 望

## ● はじめに

医療機関における画像保管・閲覧システム (PACS) は、診療の質や業務効率に直結するインフラである。クラウド技術の進展により、オンプレミス型からクラウド型PACSへの移行が加速しており、新型コロナウイルス感染症の影響も相まって、非対面診療やBCP対応の観点からもクラウド対応の重要性が高まっている。

当社が提供する「CLEVINO PACS」は、2025年にクラウド対応版の販売を開始し、現在は導入拡大に向けた提案活動を本格化している。セキュリティ・操作性・費用対効果の全方位に配慮した本システムは、次世代の医療インフラとしての可能性を秘めており、今後も医療現場のニーズを捉えながら、品質と機能のさらなる向上を図っていく。

## 1. CLEVINO PACS (クレヴィノ) クラウド対応と利点

クラウド版CLEVINO PACSは、医療機関における柔軟かつ効率的な運用を実現する。クラウド環境により、サーバー構築や維持管理の負担を軽減し、導入・運用の手間やコスト削減が期待される。また、セキュリティ対策ソフトとの併用に

より、多層的な防御体制を構築し、BCP対策にも対応した堅牢な運用基盤を提供する。

## 2. 機能と他システムとの連動性

### ① 画像表示ビューワとして (図1)

CLEVINO PACSは、画像比較モード、MPR生成、簡易VR、マンモグラフィ専用表示などを標準搭載し、直感的な操作で診療スタイルに応じた柔軟な活用が可能である。

### ② 新たな機能 (図2、図3)

心エコーやアンギオなどのDICOMマルチフレーム動画に加え、MP4形式の非DICOM動画もDICOMラッピングを介して一元管理できる。内視鏡や手術映像の表示にも対応し、動画活用の幅を広げている。

さらに、チャプター機能も搭載しており、目次設定により重要シーンへ即時ジャンプが可能である。術中記録の確認や研修、患者説明用資料としての活用も期待され、



図1 画像ビューワ「CLEVINO PACS※1」

動画を医療情報として有効活用できる。

今後は、医用画像AIとの連携にも注力し、AIによる異常陰影候補領域の検出や自動計測等とPACS画面との連動により、医師の負担軽減と読影精度向上を両立する診療体制の構築を目指している。

### 3. セキュリティ強化と 周辺ソリューション

個人情報扱うPACSには、堅牢なセキュリティが求められる。当社では、ガイドライン準拠のアクセスログ管理に加え、ゼロトラスト型のクラウド対応アンチウイルスソフトとの連携により、院内全体のセキュリティ強化を推進している。

## ● おわりに

イメージワンは、医療現場のニーズに応じて進化を続けるベンダーとして、CLEVINOの技術革新を通じ、医療DXの推進と安全・効率的な画像運用環境の構築を支援していく。

※1 CLEVINO PACSは製品の総称です。  
販売名:CLEVINO は汎用画像診断ソフトウェア 製造販売承認番号:302AGBZX00065000  
※2 Chest Screeningは製品の総称です。  
販売名:医用画像解析ソフトウェア EIRL Chest XR 製造販売承認番号:30400BZX00285000  
販売名:医用画像解析ソフトウェア EIRL Chest Metry 製造販売承認番号:302AGBZX00101000



図2 動画ビューワ「CLEVINO PACS<sup>※1</sup>」

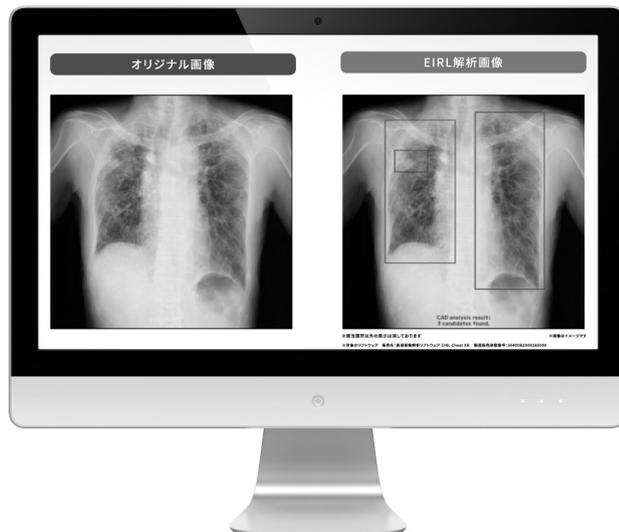


図3 医療画像診断支援AI「EIRL Chest Screening<sup>※2</sup>」  
(エルビクセル株式会社)